

TOKYO DENTAL COLLEGE ALUMNI ASSOCIATION

TDC Academia 2025



臨床セミナー

6月 1日 (日) デジタルセミナー
「デジタル有床義歯の現在」
～基本は同じ デジタルワークフローがもたらす革新的なメリットとは何か～

8月24日 (日) ベーシックハンズオンセミナー 2日間コース
9月 7日 (日) 「すぐに役立つ臨床のコツ」
～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科、エンド編～

医療教養

10月26日 (日) 医療教養フォーラム
「生活を支える地域医療の発展」
～患者さんの「幸せな日常」を叶える～

主催 東京歯科大学同窓会 協力 東京歯科大学
日本歯科医師会生涯研修認定

ご挨拶



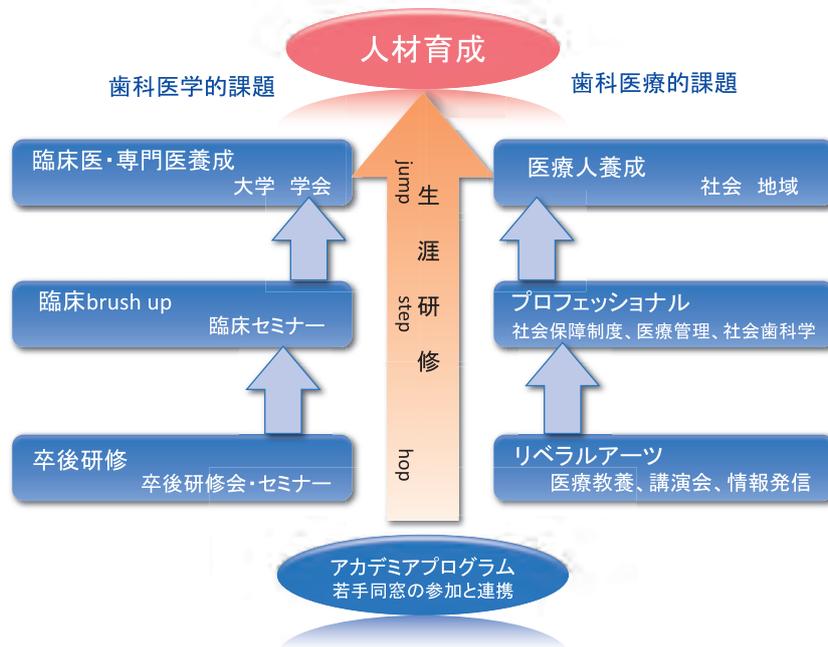
同窓会会長 富山 雅史

「TDCアカデミア」は2016年に同窓会120周年を記念し発足され、今年度で10年目を迎えました。アカデミアは「卒後研修」「臨床セミナー」「医療教養」を3本柱とした生涯研修の場であり、臨床テクニックの習得のみならず、医療関係者として必要な医療情報、社会的教養等のセミナーを通じて、同窓生が様々な分野で社会的に活躍できる素養を習得していただきたいと考えております。

大勢の先生方に参加していただけるように、臨床セミナーは、ハンズオンセミナーに限り実習を伴うために水道橋校舎での対面開催となりますが、他の臨床セミナー及び医療教養セミナーはすべてWeb参加が可能なハイブリッド開催としております。また、「卒後研修」の勉強会は、症例検討の場として人気があり、午後8時からの開催ということで地方からも参加しやすくしております。

同窓会では、卒後若い先生のみならず、幅広い世代に対応するテーマを毎年企画しておりますので、本年度も多くの先生方に参加していただけることを希望しております。

臨床のみならず人間性豊かで社会性のある歯科医師になれるよう、生涯研修の場をつくり、各分野からの技術、情報、知識、教養を提供いたします。



幅広い分野で活躍できるような人材育成を明確な目標とし、母校での質の高い大学教育を引き継ぎ、卒後の生涯研修のためにアカデミアとして応援していこうという構想です。研修は、歯科医学的課題と歯科医療的課題とを包括的かつ総合的な視点で捉えております。卒後研修では、研修医・卒後の若い先生方が診査・診断、情報収集、治療計画立案、プレゼンテーションといった生涯研修を進める上での基本部分が身につけられます。臨床レベルの向上ならびに専門性の高い技術習得には臨床セミナーを活用していただき、日々の臨床にお役立てください。またリベラルアーツでは、医療教養としての知識を講演会を通じて学べ、さらには社会制度の研究や情報提供を通じ、患者さんや社会から望まれる歯科医師像をめざすことを目標としています。

アカデミアプログラムには、hop→step→jumpとして目標設定と継続性を示しておりますが、順番や年齢制限はありません。生涯研修の場としてこのアカデミアを捉えていただき、確固たる臨床医として、医療人となるべく同窓会は支援いたします。

卒業研修 「症例を診て、考えて、楽しむ勉強会！」



セミナーや学会には行くけど勉強会は参加したことがない方、一度参加してみませんか！

提示された症例について色々と話を聞いてみたい、困っている自分の症例を相談してみたいと思っている方にとっても参考になる勉強会です。

様々な症例を通じて意見交換し、臨床の現場における引き出しをみんなで増やしていきましょう！

症例を通じて Hop、Step、Jump！

1. Hop : 症例(患者)を診るって 何を診ればいいの？
2. Step : 患者の情報って 何を聞いて 何を考えるの？
3. Jump : 治療方法の引き出しを増やすには何をすればいいの？

同窓会学術委員会では以下の3つの勉強会があり、いつ、どこに参加してもOKです。

また、人前で話すのが苦手な方は、慣れるまでは無理に発言等していただくことはありませんので気軽に参加してください。



参加無料 参加ご希望の方は sotsuken@tdc-alumni.jp まで

TDC 卒業研修倶楽部

奇数月第4木曜日 20:00～

症例相談や経過報告などの発表を中心に皆でディスカッションしていく勉強会です。なぜこの患者さんは計画通りに進んだのに、あの患者さんは計画通りに進まないのだろうって思ったことはないですか？その原因を様々な症例から疑似体験し、臨床の現場での直感力や、具体的な診療方法をやしなえる勉強会になっています。

卒研症例検討会

偶数月第4木曜日 20:00～

若手歯科医師向けの研修会です。経験豊富な先生方から1歯単位から口腔内全体を診断するために必要なことを講演として聞けます。参加者の症例を通じて意見交換をすることで、経験者がどのようなことを考えているかを学べる勉強会になっています。

デンタルスタッフミーティング

第3水曜日 20:00～

診療に必要な資料(X線写真や口腔内写真など)や情報の収集や選別の仕方など基礎的なことを中心にすすめている勉強会です。症例を通して、「何が足りなかったか」「他にどんな情報があると有利か」などを意見交換しながらスキルアップを図っております。今まで勉強会に参加したことのない方でも参加しやすい内容となっております。

「デジタル有床義歯の現在」

～基本は同じ デジタルワークフローがもたらす革新的なメリットとは何か～

「矯正や歯冠修復に口腔内スキャナーを応用されている先生方、有床義歯製作にも活用してみませんか」

歯科臨床にデジタル技術が導入されて久しくなります。歯冠修復物の製作はデジタル化が先行していますが、有床義歯分野でもデジタル技術により適合精度が良く患者満足度の高い有床義歯を製作することが可能となってきました。しかし口腔内スキャナーを使用して適切な辺縁形態が決められるのか、模型なしで人工歯配列ができるのか、など戸惑う先生もいらっしゃるでしょう。

本セミナーではそのような疑問にお答えし、有床義歯補綴にデジタル技術が導入されて「変わる点」・「変えてはいけない点」についても解説してまいります。

そして、デジタル有床義歯を積極的に導入している講師の先生方の様々な症例を通してその良さを身近に感じることができます。また歯科技工士の立場からは有床義歯に関わるデジタル技術の応用やラボコミュニケーションについてお話ししていただきます。どうぞ奮ってご参加ください。

講師：田坂 彰規 (東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座)
 竜 正大 (東京歯科大学老年歯科補綴学講座)
 飯田 雄太 (岡山県開業)
 平林 剛 (東京歯科大学水道橋病院歯科技工室)

日時：6月1日(日) 10:00～16:30

場所：ハイブリッド開催

対面参加 東京歯科大学水道橋校舎新館 11階

Web参加 zoom ウェビナー

定員：60名

受講料：東京歯科大学同窓生

(前年度同窓会費納入者) 2万5千円

歯科医師 3万円

コデンタルスタッフ 1万円



- 講演内容
- 1) デジタル化で有床義歯はどう変わったか
 - 2) デジタル化でも変わらないこと
 - 3) デジタル有床義歯の実際
 - 4) デジタルラボワークの実際と注意点



※同窓会HP (<https://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

デジタルセミナー 参加方法 <input type="checkbox"/> 対面参加・ <input type="checkbox"/> Web参加		チェックをお入れください
ふりがな	出身校 (大学)	
ご氏名	(年卒)	
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住所 〒		
TEL	FAX	
必須 E-mail		
ご勤務先名		

状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに記載いたしますので、そちらでご確認ください。



田坂 彰規
(たさか あきのり)

2003年 東京歯科大学卒業
 2007年 東京歯科大学大学院歯学研究科(歯科補綴学専攻) 修了
 2007年 東京歯科大学千葉病院(現・千葉歯科医療センター) レジデント
 2008年 東京歯科大学有床義歯補綴学講座(現・老年歯科補綴学講座) 助教
 2013年 東京歯科大学有床義歯補綴学講座 講師
 2015年 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座 講師
 2018年 ドイツ連邦共和国ハイデルベルグ大学附属病院・補綴科 visiting professor
 2020年 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座 准教授

【所属団体・認定資格・役職】

日本補綴歯科学会 専門医・指導医
 日本老年歯科医学会 専門医・指導医
 日本口腔インプラント学会 専修医

【主な著書(分担執筆)】

「有床義歯補綴学」 永末書店 2021年(著分担)
 「聞くに聞けない補綴治療100」 デンタルダイヤモンド社 2019年(著分担)
 「パーシャルデンチャー治療失敗回避のためのポイント47」 クインテッセンス出版 2017年(著分担)

デジタルデンティストリーの普及に伴い、パーシャルデンチャーの治療は大きな変換点を迎つつあります。パーシャルデンチャー製作用のCADソフトウェアの発展が目覚ましく、フレームワーク、義歯床および人工歯のすべての構成要素を設計することが可能となりました。また、切削加工用および積層造形用の義歯用材料が次々と薬機法で承認され、パーシャルデンチャーのデジタル化のための準備が整いました。しかし、これらの技術および材料のパーシャルデンチャーへの応用方法は確立されていないのが現状です。また、歯科技工士数の減少により、アナログ義歯の安定供給は今後見込めないことが予想されますので、今のうちにデジタル義歯への転換を準備する必要があります。

本セミナーでは、これまで当講座で実施してきたデジタル技術を活用したパーシャルデンチャーの研究と臨床から現時点で取り組める義歯治療のデジタル化について共有できればと思います。(Akinori Tasaka)

CAD/CAM技術にて製作したフレームワークの精度検証
(mm)

3Dプリンティングパターン製造 金属積層造形

Tasaka A, Shimizu T, Kato Y, Okano H, Ida Y, Higuchi S, Yamashita S.
Accuracy of removable partial denture framework fabricated by casting with a 3D printed pattern and selective laser sintering.
J Prosthodont Res. 61, 234-239, 2020.

ハイブリッド技術にて製作したコバルトクロム合金製フレームワークの精度検証
(積層造形+マリング)

造形シミュレーション

■ 切削加工箇所
■ 造形肌/削り残し箇所
■ サポート

造形協力:株式会社松浦機械製作所

部分欠損歯列顎堤に対する口腔内スキャンの精度向上を図る新提案

乾燥バスタ
5. Hours
10. Days

マーカーあり → マーカー切り取り → 再スキャン

従来法 新手法

Shimizu T, Tasaka A, Wadachi J, Yamashita S.
A new proposal for improving the accuracy of intraoral scanning for partially edentulous residual ridge.
J Prosthodont Res. 2022;66:519-523. doi: 10.2186/jpro. D.21.09127.

口腔内スキャナーとCAD/CAM技術で製作したパーシャルデンチャー

1. CADによる設計 2. フレームワークの造形
3. 3Dプリント模型上のフレームワーク 4. デジタルパーシャルデンチャーの装着

造形協力:和田精密歯研株式会社

従来法の印象採得と口腔内スキャナーによる光学印象採得の概念の違い

個人トレーによる印象 口腔内スキャナーによる印象

残存歯:解剖学的印象
顎堤粘膜:機能印象(加圧印象)

従来法と口腔内スキャナーによる印象の顎堤粘膜の被圧変位の違い

個人トレーによる印象 口腔内スキャナーによる印象

研究用模型に対する作業用模型データ 研究用模型に対するIOSデータ

残存歯:解剖学的印象
顎堤粘膜:機能印象(加圧印象)

浮上
加圧

(キリトリ線)



竜 正大

(りゅう まさひろ)

- 2005年 東京歯科大学卒業
- 2009年 東京歯科大学大学院歯学研究科(歯科補綴学専攻) 修了
- 2009年 東京歯科大学有床義歯補綴学講座 助教
- 2014年 スイス・バーゼル大学歯学部補綴科 客員教授
- 2015年 東京歯科大学老年歯科補綴学講座 助教(改組による)
- 2016年 東京歯科大学老年歯科補綴学講座 講師
- 2021年 東京歯科大学老年歯科補綴学講座 准教授

【所属団体・認定資格・役職】

- | | |
|-------------------|---------|
| 日本補綴歯科学会 | 専門医・指導医 |
| 日本老年歯科医学会 | 専門医・指導医 |
| 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 | 認定士 |
| 日本サルコペニアフレイル学会 | 指導士 |

【主な著書(分担執筆)】

「老年歯科医学第2版」	医歯薬出版	2022年
「有床義歯補綴学」	永末書店	2021年
「目で見る総義歯臨床第2版」	永末書店	2021年

デジタル技術を活用した有床義歯(デジタルデンチャー)は、来院回数や技工作業の削減、義歯の均質化や再製作の容易さなど、様々な利点を有します。その技術は年々進歩してきており、超高齢社会の義歯治療においてデジタルデンチャーは非常に有用な選択肢となるでしょう。しかしながら、現状では既にデジタルデンチャーを導入している国内の歯科診療所は限定的と考えられます。従来法で満足な義歯が製作されていることに加え、デジタルデンチャー製作における臨床術式、必要な設備、歯科技工所への発注、破折時の修理法など、まだまだ広く知られていないことが多いこともその原因と考えられます。

本セミナーでは、総義歯を中心としたデジタルデンチャーの現状と超高齢社会の義歯治療における有用性、デジタルデンチャーの製作や修理に関する臨床術式、歯科技工士との連携についてなど、歯科診療所でのデジタルデンチャー導入について考慮すべきポイントや注意すべき点を整理してお話したいと考えています。

(Masahiro Ryu)

デジタルデンチャーの有用性

- 来院回数の削減
- チェアタイムの削減
- 技工作業の削減
- 技工作業の質の均質化
- 再製作が容易



超高齢社会の義歯治療において、デジタルデンチャーの有用性は高い

3D Printed Dentureの精度

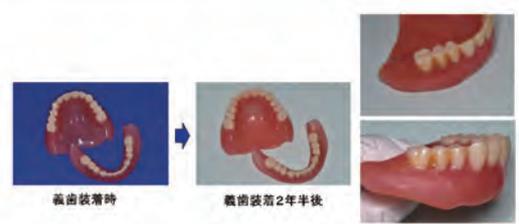
- ・ミリング法とプリンティング法、どちらの製作方法でも臨床上市容される範囲の変形
- ・精度はミリング法の方が優れているが、アンダーカット部の適合はプリンティング法の方が優れている

*Accuracy of digital complete dentures: A systematic review of in vitro studies. Chi-Wing, Yi-Fai Shi, J Prosthet Dent. 2021;125:249-56
*Assessment of the fit and surface adaptation of CAD-CAM maxillary denture bases manufactured using digital light processing. Hyun-Ki Hwang, Sang-I Kim, Sun-Jin Park, Hyung-In Yoon, J Prosthet Dent. 2018; 121:119-23



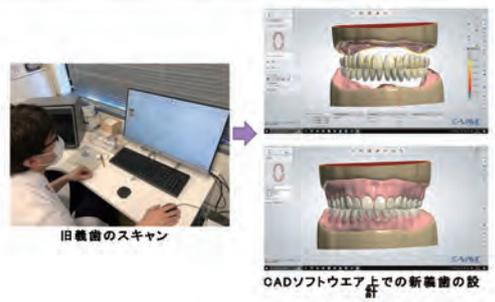
精度に関しては臨床的に許容範囲

2年半経過症例 咬耗の状態

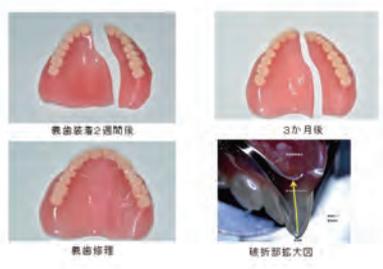


3D Printed Dentureの機械的性質が向上中!

歯科医院と歯科技工所の情報共有



デジタルデンチャー破折に対する対応



キリトリ線



飯田 雄太
(いいた ゆうた)

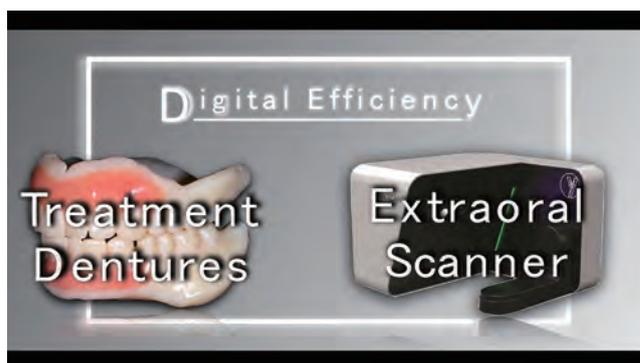
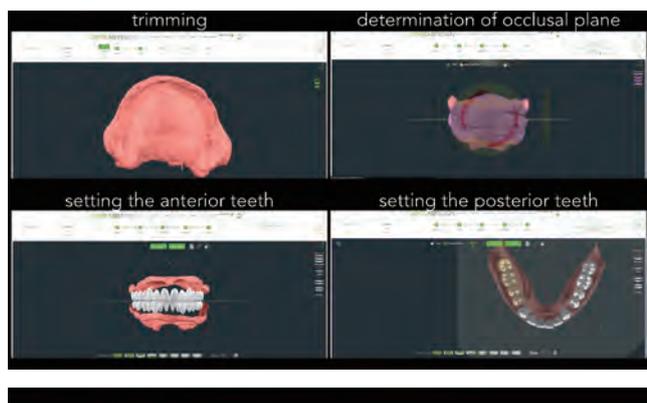
2013年 東京歯科大学卒業
同校水道橋病院 臨床研修
2014年 埼玉県 医療法人D&H かめだ歯科医院勤務
2021年 岡山県 飯田歯科本院 勤務
2024年 飯田歯科本院 院長

【所属団体・認定資格・役職】
有床義歯学会 (JPDA) 認定医・理事
KULZER JAPAN KEY OPINION LEADER
(株)モリタ デジタルデンチャーインストラクター

【主な著書 (分担執筆)】
「パーシャルデンチャーにおけるオルタードキャスト法を再考する」(共著) デンタルダイヤモンド 2019年
「パーシャルデンチャーの"LEVEL UP"トレーニング」(共著) デンタルダイヤモンド増刊 2022年
「『上減の歯列』を考慮した戦略的補綴設計」(共著) ヒョーロン 2022年
「デジタル×アナログが創る 総義歯製作の未来」 デンタルダイヤモンド 2023年

近年、デジタル技術が進歩し、総義歯製作においても3Dプリンターやミリングマシンを用いて製作することが可能になってきています。その上、このデジタル技術を用いた総義歯製作法は従来法と比較しても引けを取らない、もしくは精度が高いという報告もあります。世界的に総義歯治療はデジタルの方向へ移行しつつあり、今後、デジタル総義歯が当たり前になることはもはや確実です。また、パーシャルデンチャーに関してはまだ発展途上ではありますが、さまざまな試行錯誤が行われており、少しずつではありますがデジタル化へ移行しつつあります。

しかし、デジタル技術を用いたら質の良い臨床ができるわけではありません。デジタル技術は「コピー」することに関しての精度が高く、この「コピー」に耐える臨床技術が今まで以上に必要になります。本セミナーでは、総義歯、そしてパーシャルデンチャーにおけるデジタル技術の応用法を開業医の立場でお話しさせていただき、また押さえるべき臨床のポイントを解説させていただこうと思います。(Yuuta Iida)



平林 剛
(ひらばやし たけし)

1984年 東京歯科技工専門学校卒業
1986年 同校専修科(歯科補綴学第三講座)卒業
1986年 東京歯科大学水道橋病院 歯科技工室 勤務
2014年 東京歯科大学水道橋病院 歯科技工室 主任歯科技工士

【所属団体・認定資格・役職】
日本補綴歯科学会
日本口腔インプラント学会

実際の歯科臨床においては、実践的な技術が伴っていないことを感じてないでしょうか？

一口腔単位での臨床診断や、治療計画の立案説明、実際の治療などを時間的制約がある中で的確に行うことは難しいものです。そんなプレッシャーを感じる前に、口腔外での擬似的体験を通して、日常臨床の一助にさせていただきたいと思います。



支台歯形成
効率よく
支台歯形成できますか？



テンポラリークラウンの製作
短時間で製作するコツ



フラップ手術
切開、歯肉弁の剥離ってどうやるの？
切開線の設定とデブライドメントのコツ
(ブタ顎骨実習)



抜歯・縫合
抜歯・縫合の基本を取り入れる
(ブタ顎骨実習)



MTM
エクストルージョン
装置の実際、何に気を付ければいいのか？
石膏模型実習



髓室開拡・根管拡大
正確な根管治療のための髓室開拡
根管拡大のコツ



是非、この機会に少しでも臨床の現場で悩まない「臨床のコツ」を身に付けてください。

「生活を支える地域医療の発展」

～患者さんの「幸せな日常」を叶える～

我が国は超高齢社会を迎え、単に寿命を延ばすのではなく、QOL（生活の質）を向上し、健康寿命の延伸が重要視されるようになってきました。医療においても、単に寿命を延ばすことを目的とするのではなく、個々の生活者の日常を支える役割が重要になってきています。とりわけ、食生活は日常生活の要であることは言うまでもありません。日常生活の支援には「食べる」を支える多職種連携をいかにスムーズに行うことができるかが肝要です。そこで、今回は地域住民の日常生活に軸足を置いた医療活動を実践している専門家をお招きし、歯科医療者の協働について皆さんと共に考えたいと思います。

講師：古屋 聡 (医師 山梨県開業)
 時田美恵子 (管理栄養士)
 坂野さおり (歯科衛生士)



日時：10月26日(日)
 10:00～13:00

場所：ハイブリッド開催
 対面参加 東京歯科大学水道橋校舎新館 11階
 Web参加 zoom ウェビナー

定員：60名

受講料：無料 同窓会員(対面 および Web) 他大学(Webのみ)

- 講演内容：1) 幸せな日常をかなえる医療の展開
 2) 生活支援における管理栄養士の役割
 3) 医療と口腔ケアおよび摂食支援の連携



※同窓会HP (<https://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

医療教養フォーラム 参加方法 <input type="checkbox"/> 対面参加・ <input type="checkbox"/> Web参加		チェックをお入れください
ふりがな	出身校 () 大学	
ご氏名	() 年卒	
ご連絡先住所	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
TEL	FAX	
必須 E-mail		
ご勤務先名		

状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに記載いたしますので、そちらでご確認ください。



古屋 聡
(ふるや さとし)

1962年 山梨県生まれ
1987年 自治医科大学卒 山梨県立中央病院初期研修を経て
1989年 牧丘町立(当時)牧丘病院 整形外科
1992年 塩山市立(当時)塩山診療所
2006年 山梨市立牧丘病院 整形外科
2008年 同院長
2017年 同院長退任

所属団体・認定資格・役職
日本在宅医療連合学会
日本プライマリ・ケア連合学会
日本臨床心理身体運動学会
日本摂食嚥下リハビリテーション学会

外来・入院・在宅診療を行っている。
在宅患者は約120ケース、月間訪問件数は200件程度
傾倒する活動：プライマリケア整形外科(整形内科)・プライマリケアエコー 口腔ケア・摂食嚥下・コミュニケーション・災害支援・地域包括ケア

主な著書(分担執筆)

多職種で取り組む食支援:急性期から看取りまで 僕なら私なら「こう食べていただきます!」
南山堂 著者編者 2017年

「人間の尊厳と口腔ケア」

地域診療所で在宅医療をおこなっていた演者が、中途障害の摂食嚥下障害患者の問題につきあっていたのは2000年ごろのことでした。

山梨県の訪問歯科衛生士である牛山京子さんとの出会いが、医療サイドの一員(医師)として在宅ケアに関わる演者に、決定的な転換をもたらしてくれました。以来、在宅医療・ケアにおいても、災害支援においても、地域活動においても、お看取りにおいても家族との別れについても、口腔ケアと歯科との協働は、自分にとって大切な柱となっています。当日は、この経緯についてお話しさせていただきます。(Satoshi Furuya)



時田 美恵子
(ときた みえこ)

社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス
東埼玉総合病院管理栄養士

所属団体・認定資格・役職
糖尿病療養指導士
埼玉県栄養士会理事

経歴
医療法人加納岩総合病院、乳業メーカー勤務などを経て管理栄養士の資格を取得。その後、地域活動栄養士として、栄養士の委託事業や医院、保健センター、企業での栄養指導や特定保健指導を行う。2014年より社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス 東埼玉総合病院にて、栄養指導や糖尿病療養の指導を行っている。

『キッチンカーが運ぶのは「幸せになる」管理栄養士の料理』

令和6年度の診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬改定により、リハビリテーション、口腔、栄養の一体的な連携が評価され、歯科と栄養の関係は注目されています。「健康日本21(第三次)でも咀嚼力が言及されており、幅広い年代における栄養課題が重要視されています。現在の管理栄養士は、地域住民の栄養状態の把握と改善、栄養教育と啓発活動など、地域での役割が多岐に渡り、更に子供から高齢者までのライフステージに応じた栄養情報の発信が求められています。しかしながら、病院管理栄養士として勤務してきた中では、限られた範囲での活動や情報発信しかできませんでした。今回の報告では、キッチンカーを活用し、行政や多職種の方々と連携している活動を紹介します。また、このキッチンカー巡回活動で得られた地域住民の交流や、農産物を活用した料理、今後の方向性についても併せて報告します。(Mieko Tokita)



坂野 さおり
(さかの さおり)

フリーランス在宅訪問歯科衛生士

1990年3月 山梨英和短期大学卒業
 2001年3月 山梨県歯科衛生専門学校卒業
 2000年6月 ナカムラ歯科医院勤務
 2004年4月 山梨県歯科衛生士会地域歯科保健部
 2004年4月 乳幼児歯科保健及び小中学校歯科保健指導員
 2004年4月 在宅及施設訪問フリーランス歯科衛生士
 2005年4月 おざわ歯科医院非常勤
 2010年4月 塩山市民病院口腔ケアチーム
 2021年6月 山梨県歯科衛生士会副会長・災害支援理

所属団体・認定資格・役職

歯科衛生士
 山梨県歯科衛生士会 副会長
 日本歯科衛生学会：
 地域歯科保健部、災害歯科保健歯科衛生士コーディネータ

経歴

医療法人加納岩総合病院、乳業メーカー勤務などを経て管理栄養士の資格を取得。その後、地域活動栄養士として、栄養士会の委託事業や医院、保健センター、企業での栄養指導や特定保健指導を行う。2014年より社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス 東埼玉総合病院にて、栄養指導や糖尿病療養の指導を行っている。

「地域医療における歯科衛生士の可能性」

私は、山梨県で約20年間、在宅療養者を訪問する仕事をしています。同時に、地域歯科保健にも従事し、0～100歳の予防事業に携わっている。地域で生活を営む人の人生は、常に変わりゆく。年齢が変わり、居場所が変わり、目指す健康の姿や生きがいでさえも変化する。口からの健康も、そのような流動性に合わせるために、多くの知識、視点、情報が必要だ。歯科衛生士業は、啓蒙活動、かかりつけ歯科、周術期口腔ケア、退院時の環境整備、誤嚥性肺炎予防、そしてみとり直前の口腔緩和ケアまで、シームレスな可能性を秘めている。口腔の課題は個性が大きいため、私たちが院外へ出て行くことで繋がる支援は少なくない。

近年、県歯科衛生士会としては、地域、行政に期待される仕事が大変に増加している。それを担える人材を育てる事も、私の大切な仕事でもある。

(Saori Sakano)



卒後研修 ……………臨床研修医から若手歯科医師を対象に、診査診断、情報収集と記録、治療計画、予後予測、プレゼン方法を学び、生涯研修の基本を身につけることを目的としています。各研修会、症例検討会、ベーシックセミナーを通して、日常臨床の基本を学べます。

臨床セミナー ……………すべての臨床医へ、基本手技から専門的知識と技術、先進医療など、臨床レベルの向上につながるセミナーを提供することを目的としています。セミナーを通じ、日常臨床のスキルアップ、臨床対応の選択肢が広がるよう、各専門的立場の先生方からお伝えいたします。

医療教養 ……………若手歯科医師からベテラン歯科医師まで、教養学習を通して社会性や歯科医療倫理観を高めることを目的としています。講演会、研究発表、グループ活動報告などの情報発信を通して、歯科医療の課題について共に研鑽いたします。

卒後研修

TDC 卒後研修倶楽部	奇数月第4木曜日	20:00～
卒研症例検討会	偶数月第4木曜日	20:00～
デンタルスタッフミーティング	第3水曜日	20:00～

臨床セミナー

6月 1日(日) **デジタルセミナー**
「デジタル有床義歯の現在」
～基本は同じ デジタルワークフローがもたらす革新的なメリットとは何か～
講 師：田坂 彰規 (東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座)
竜 正大 (東京歯科大学老年歯科補綴学講座)
飯田 雄太 (岡山県開業)
平林 剛 (東京歯科大学歯科技工室)

8月24日(日) **ベーシックハンズオンセミナー 2日間コース**
9月 7日(日) 「すぐに役立つ臨床のコツ」
～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科、エンド編～
講 師：学 術 委 員 (東京歯科大学同窓会)

医療教養

10月26日(日) **医療教養フォーラム**
「生活を支える地域医療の発展」
～患者さんの「幸せな日常」を叶える～
講 師：古屋 聡 (医師 山梨県開業)
時田美恵子 (管理栄養士)
坂野さおり (歯科衛生士)



状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。
今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに記載いたしますので、そちらでご確認ください。

会場について

- 東京歯科大学水道橋校舎新館
- 東京歯科大学水道橋校舎別棟7階
JR『水道橋駅』東口下車(御茶ノ水寄り出口)



受講申し込みについて

セミナーごとに申し込み用紙があります。

所定の申し込み用紙に必要事項を記載の上、FAXにて送信いただくか、同窓会HPよりWebにてお申し込みください。

FAX 03-3264-4859 (東京歯科大学同窓会事務局)

<https://www.tdc-alumni.jp>

必要記載事項

- ①氏名・ふりがな
- ②ご連絡先となる 郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、勤務先名
- ③Eメールアドレス
- ④職種 歯科医師(出身大学・卒業年度)、臨床研修歯科医(出身大学)
歯科衛生士、コ・デンタルスタッフ、その他

*もれなくご記載ください。記載不備の場合、正式申し込みにならない場合があります。

申し込み時の注意事項について

- ・受付は先着順とし、お申し込み受付後、振込用紙(郵便局用)をお送りいたします。
- ・振込用紙送付時に指定した期日までに受講料をご入金ください。
- ・受講料は消費税込みとなっております。
- ・入金の確認をもって受講受付完了とし、後日受講票(対面受講者のみ)および受講案内をお送りいたします。
なお領収書は振込金受領証をもってかえさせていただきます。
- ・入金前にキャンセルをご希望の方は必ずご連絡ください。
- ・入金後の受講料のご返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
(ご欠席なされる場合は、代理の出席が可能です。)
- 但し、主催側の事情により中止した場合は受講料の返金をいたします。
- ・プログラムの内容は、やむを得ず変更となる場合がありますので、ご了承ください。
- ・本セミナーは、日本歯科医師会の生涯研修事業に認定されております。研修登録用ICカードをお持ちください。

*東京歯科大学同窓会は、本セミナーの参加申し込みにより取得した個人情報を厳重に管理し、予めご本人の同意を得ることなく、第三者に提供することはいたしません。

東京歯科大学同窓会での個人情報の利用目的は下記の通りです。

1. 本セミナーの運営および、それにとまなうご連絡。
2. 東京歯科大学同窓会からの各種情報のご案内。

セミナーお申し込みはこちらから



東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18

東京歯科大学同窓会事務局

TEL 03-6261-6631

FAX 03-3264-4859

URL <https://www.tdc-alumni.jp>

※毎週土曜日・日曜日・祝日はお休みです。

電話での対応は平日9:30～17:30とさせていただきます。

